

がんばれ!!

新連携・地域資源活用・農商工連携

第45回

知られざる国内有数の観光資源を 磨き上げて、世界へ提供

独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部 経営支援課 課長代理

二宮 健晴

紹介事例の概要

会社名	株式会社レゾネイト
認定区分	地域資源
認定事業名	“国内有数”の久住高原と炭酸水素塩泉を活用した、心と身体健康改善滞在型ヘルスツーリズムプログラムの開発と販路開拓
認定日	平成26年7月7日

国内有数の久住高原とその課題

大分県の西部、くじゅう連山の南麓に位置する久住高原は、約600～1100mの標高に広がり、南西に隣接する阿蘇一帯と共に阿蘇くじゅう国立公園を形成している。緩やかに広がる草原を通して阿蘇の山々や宮崎県最高峰の祖母山も見渡せるなど、実に雄大な高原である。

その久住高原にて「レゾネイトクラブくじゅう」や「久住高原コテージ」などの宿泊施設を運営するのが、今回ご紹介する(株)レゾネイトである。同社の原田和信社長は「これだけの大自然に恵まれた高原はまずない」とその素晴らしさを語るが、一方でその観光資源に見合った評価を得ておらず、いかにしてその魅力を伝え、来訪者及び滞在者を増やすかが課題となっている。



久住高原

観光資源のブラッシュアップと複合化

同社は平成5年にレゾネイトクラブくじゅうを開業し、その後コテージやオートビレッジなど宿泊施設のバリエーションを増やしてきた。一方、単に施設を増やすのみではなく、久住高原のさまざまな観光資源を活かした魅力付けにも取り組んでいった。

まず黒澤明監督の「乱」に騎馬出演するなど馬の調教に練達している宮本寛氏を乗馬のインストラクターとして招聘し、平成20年に乗馬牧場をオープンさせた。適度な高度により夏でも涼しく、豊富な牧草と広大な敷地を有する久住高原は、「馬にとってこれほどの環境はない」という適地であり、ストレスが低減され気性が穏やかな馬は初心者でも乗りやすく、誰もが楽しめる乗馬体験の場となった。

平成23年には公益財団法人大分県産業創造機構の助成事業において同社の「久住高原“馬と自然と温泉”を使った久住高原のブランド化達成事業」が採択され、この事業を通じて乗馬等観光商品の企画や旅行会社等への営業を行うことにより、大自然の中でのヘルスツーリズム（注）のニーズを実感するに至った。

（注）自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する新しい観光形態。（国土交通省観光庁）

また平成26年1～3月には、大分県の支援事業「ダイエットツーリズム調査研究事業」に参画。自然や風景を楽しむだけでなく、久住高原の優良な観光資源を活かして、運動プログラムと温泉療法そして日本ダイエット協会が提唱する血糖コントロール理論に基づく食事を組合せたダイエットプログラムのモニターツアーを行った。短期間のツアーにもかかわらず体重、体脂肪率、血糖値、ストレス度などにおいて一定の改善傾向がみられることがわかり、ダイエットと観光ツーリズムを組み合わせ、女性層やシニア層を中心と

した新規需要開拓が可能と判断した。

こうした一連の観光プログラム開発の結果、平成26年7月に「国内有数」の久住高原と炭酸水素塩泉を活用した、心と身体健康改善滞在型ヘルスツーリズムプログラムの開発と販路開拓が地域資源活用事業として認定されることになった。この事業計画は、これまでの観光プログラムをさらに進化させ、新規に取り組むプログラムと併せてより質の高い滞在型ヘルスツーリズムを提供しようとするものである。

すでに好評を博している乗馬体験を、単に楽しむ活動と捉えず、馬に触れて日常使わない筋肉や神経を使うことによる心理的及び身体的な癒し効果（セラピー）もあると判断。乗馬のみならず高原の森林散策によってもセラピーが期待できることから、NPO法人森林セラピー協会の森林セラピストと連携し、心とからだの健康を維持・増進させるプログラム（セラピープラン）を開発していくことにした。

また地元医療機関の伊藤医院・伊藤恭院長の指導監修が得られることにより、久住地域独特の炭酸水素塩泉を活用した温泉入浴プランの開発にも着手する。血管拡張や血流促進効果の高い炭酸水素塩泉を活用し、科学的根拠に基づいた入浴法を実施することにより、生活習慣病予防等に役立つ入浴プランの提供をめざす。

事業計画の策定にあたっては、長年にわたり旅行業に従事し、また九州への観光客誘致にも携わっている中小機構九州のチーフアドバイザー甲斐氏が、同社の姿勢や観光資源のポテンシャルの高さに注目し、大分県中小企業団体中央会と協力して、2年越しで滞在型ヘルスツーリズムのブラッシュアップを支援したことも、認定の大きな要因となった。



乗馬体験

◆ 今後の事業展開

認定を受けた滞在型ヘルスツーリズムプログラムは、①炭酸水素塩泉利用の温泉入浴プラン、②健康ダイエットメニュー&健康低糖スイーツ、③健康ダイエット乗馬&アクティビティプラン、④ホース&森林セラピープラン、と4つの要素から構成されている。ヘルスツーリズムの潜在市場規模は4兆円以上と推計されていて、特に女性層やシニア層の健康志向、ダイエットニーズの高まりにより、市場規模の更なる拡大が見込まれている。これらのターゲットに合わせてプログラムを組み合わせ、2泊3日から1週間滞在まで各種プランを用意できるのも、事業の大きな強みである。

同社は今後、新規需要開拓のため、国内のみならず海外富裕層にも積極的にPR展開していく方針だ。このため、同社を含む地元の主要旅館ホテルが中心となり「久住高原健康ダイエットツーリズム研究会」を設立して、受け入れ態勢を整備し、新規観光需要開拓による地域経済活性化を目指す。一方で、ものづくり補助金の活用により、新たに温泉施設整備等を行いハード面の整備も並行するなど、新規事業の推進に余念がない。同社のこれまでの活動を振り返ると、外部経営資源と連携しつつ、施策等を効果的に活用しながら新規事業を推進していて、原田社長の人望と経営手腕の高さがうかがえる。

同社を取材した際に、「とっておきの場所がある」と360度、見渡す限り草原ばかりのスポットにご案内いただくなど、原田社長は久住高原の素晴らしさを伝えたい一心に溢れていて、この想いが周りの人々を惹きつけ力強く事業を推進している源になっていることが容易に推察された。今回、久住高原を初めて訪れた筆者も、この高原の素晴らしさと同社の取組みに強く感銘を受けた次第である。原田社長の想いが海外にまで届く日は、そう遠くないものと思われる。



原田和信社長